

幅広い世代と団体を結ぶ「しめ縄交流会」

～ 美川の伝統、しめ縄づくりを通じて交流の輪を拡げ、地域づくりへ ～

浜田市立美川公民館

1 浜田市立美川公民館の概要

浜田市の西部の海岸からひとつ山を越えた所に位置し、丘陵地に散在する集落と中国山地より流れる周布川沿いの平地集落よりなる地域である。名前の通り美しい山と川に囲まれた、人口2122人、世帯数879帯の町です。美川公民館は本館と東分館、西分館の三館。保育園、幼稚園、小学校、中学校、公民館が近隣にあるとても恵まれた環境です。

2 事業の概要

(1) はじめに

美川地域の一大イベントとして定着したしめ縄交流会。幼稚園、小学校、中学校、保護者、高齢者、地域住民が一体となって取り組む交流会を通じて、多くの人が出会い、知り、学び、更なる活動の起点につながる地域づくりを目指す。

(2) 具体的な取組み

① 連絡会議の設立・開催

各種団体と公民館職員などで構成した連絡会を立ち上げる。舞台となる中学校に集まり、それぞれの役割分担を決め、当日の流れ、準備するものを確認する。

また、学校の参観日を兼ねて開催し、親子と一緒に学ぶコミュニケーションの場となるよう、工夫する。

② 指導者講習会の開催

子ども達に指導する為の事前の講習会を開催。四十二名の参加者を得た。



③ しめ縄交流会の開催

様々な世代、年代が集うよう十二グループ編成で行う。

高学年が低学年や幼稚園の子に作り方を教えるなど、ほほえましい姿が見られるのもこの交流会の特徴で、高齢者の中には毎年子ども達の元気な姿に会えるのを楽しみにされ、参加する方も多い。

計百八十名余りの参加があった。



3 事業の成果

幼稚園、小学校、中学校の子ども達からたくさんの感想が送られてきた。公民館にスペースを設けて、地域の方に見て頂いた。

(1) 子どもたちからは・・・

地域の人と交流できて楽しかった。
優しく教えて頂いて、嬉しかった。
話してみると、近所のおばあちゃんだった。
話せて良かった。



(2) 地域のかたからは・・・

子ども達の名前と顔が一致した。外で出会っても、声がかげやすい。
子ども達が可愛らしい。元気が出た。
何十年ぶりかに学校へ足を運んだ。懐かしさが込み上げて来た。

(3) しめ縄交流会を通じて、出会った人たちから

新たに提案が出た。味噌づくりである。
地元の大豆、米を使い、食の大切さ、家庭教育を学ぶきっかけの事業となった。



① 味噌づくり・・・子どもにも教えたいとの声が聞かれた。



4 課題と今後の取り組み

地域の方はたくさん参加されたが、保護者の方の参加が難しかった。保護者の方にも参加していただけるような工夫が必要である。しめ縄交流会を通じて、味噌づくりのような新たな事業が生まれた。味噌づくりの講師の方も、しめ縄づくりの第一人者である。人が出会い、学び、それをまた学校や地域に帰していきけるような活動に今後もつなげていきたい。